

↓竹先に発煙筒をつけて、のろしを上げました



国吉城址から「のろし」が上がる

古里を「のろし」でつなごう

滋賀県と福井県の城跡や烽火台跡をのろしでリレーしていくイベントが10月2日に開催され、国吉城址本丸跡（佐柿・城山山頂）でも、のろしが上げられました。

のろしは、午前10時に滋賀県米原市の鎌刃城をスタート。国吉城址がゴールとなるルートでは、全11箇所が順々にのろしをつないでいき、国吉城址からは、午前10時40分に上がりました。

また、当日は国吉城歴史講座も合わせて開講。現在進めている第12次調査の中間報告が発掘現場で行われ、新たに見つかった石垣遺構が紹介されました。



まちの話題をお知らせします。



↓イモ掘りを通して自然との触れ合いを楽しむ参加者



トレッキングとイモ掘りを体験

第2回親子環境学習会

美浜環境パートナーシップ会議では、子どもたちに地元の自然と触れ合ってもらうことを目的に、親子環境学習会を開催しています。9月25日に、本年度2回目となる学習会が新庄で開催され、13組の親子が参加しました。

当日は、屏風ヶ滝までのトレッキング（山登り）と大谷原でのイモ掘りを体験。トレッキングでは、滝までの道中、案内役の松下照幸さん（どんぐり倶楽部）による森の動植物についての説明を聞き、環境への知識を深めました。また、イモ掘りでは、ふかしたてのサツマイモを味わう等、地元の自然を満喫しました。

↓「笑」の字を掲げ講演する露の新治さん



中学生への熱いメッセージ

美浜中学校人権講演会

9月28日に、美浜中学校で人権講演会が行われました。美浜中学校では、人権教育の一環として毎年講演会を実施しており、今年も、露の新治さん（落語家）を講師にお招きしました。

露のさんは、「たくさんの先祖から命を繋いでもらって生きている皆さんは、『宝の子』。あなたの人生はあなたが主役なので、人間としての芯である『自心』を持ってほしい。他人を差別しないことで、人はコンプレックスから解放されていく。少しずつでもいいから、自分自身を変えていく『自己変革』に取り組んでほしい。」と生徒たちにメッセージを送りました。

↓熱戦を繰り広げる選手たち（男子決勝）



↓出場選手に挑戦する美浜中Bチーム（キッズチャレンジ）



ふくいカップ JBVグランドスラム美浜大会

ビーチバレーの国内ツアー第5戦「ふくいカップJBVグランドスラム美浜大会」が、9月17日から19日にかけて水晶浜で開催されました。

大会には、浅尾美和選手や朝日健太郎選手を含む男女計32チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

また、大会最終日には、美浜中学校女子バレーボール部と美浜レインボーキッズが出場選手に挑戦するキッズチャレンジ（5点マッチ）が行われ、村上めぐみ・金田洋世ペアに挑んだ美浜中Aチームは、5-3で見事勝利を収めました。



【大会結果（敬称略）】

順位	男子	女子
1位	白鳥 勝浩・青木 晋平	田中 姿子・溝江 明香
2位	西村 晃一・Moca Moises	浦田 聖子・西堀 健実
3位	井上 真弥・長谷川 徳海	村上 めぐみ・金田 洋世
4位	畑 信也・牛尾 正和	浦田 景子・駒田 順子

【写真撮影：宇都宮真】



↑座談では、誰が塑像を造ったのか等について話し合いました

興道寺廃寺の仏様に迫る

歴史フォーラム

10月15日に、町役場で興道寺廃寺の出土品について考える歴史フォーラムが開催されました。

フォーラムでは、町教育委員会が出土した塑像（土作りの仏像）の毛髪部分等について報告。

その後、寺島典人さん（大津市歴史博物館学芸員）と亀田修一さん（岡山理科大学教授）が、仏教美術や考古学の立場から、古代の塑像についての講演を行いました。また、石川知彦さん（龍谷大学教授）が進行を務めた座談では、参加者も交えた活発な質疑応答や意見交換が行われました。

クイズで災害時の対応について考える

郷市区自主防災会 防災研修会

9月22日に、郷市児童館で郷市区自主防災会が研修会を開きました。

研修会では、「クロスロード」というクイズ形式のカードゲーム教材を用い、災害時にどう対応するかを話し合いました。

参加した区民約40人は、6つのグループに分かれ「40分後に津波が押し寄せる状況の中、まだ避難していない人を探しに戻るか？」や「避難勧告が出ても避難しない人に対して避難誘導を続けるか？」等の設問について、熱心に意見交換を行っていました。



↑参加者は、設問に対して「Yes/No」カードで自分の考えを示し、意見交換を行いました